

文部科学省物品・役務等契約監視委員会（第26回）議事概要

開催日及び場所	平成26年3月7日（金） 文部科学省 会計課会議室	
出席委員 (敬称略)	○委員長 有川 博（日本大学 総合科学研究所 教授） ○委員 田辺 孝二委員（東京工業大学大学院教授） 松浦 亨委員 （北海道大学病院 病院長補佐（病院経営・情報管理担当）、臨床教授） 和田 義博委員（公認会計士）	
審議対象期間	平成25年10月1日～平成25年12月31日	
個別審査案件	10件	○議事 (1) 平成25年度第3四半期の物品・役務等契約に係る審査 (2) その他
一般競争入札方式	6件	
最低価格方式	3件	
総合評価方式	3件	
指名競争入札方式	0件	
最低価格方式	0件	
総合評価方式	0件	
随意契約方式	4件	
企画競争	3件	
公募	0件	
競争性のない随意契約	1件	
不落随意契約	0件	
事前審査案件	0件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の内容	個別に検討等を要するものはあるが、全体としては特に問題なく処理されている。	

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>平成25年度第3四半期の物品・役務等契約に係る審査について（以下、審査順）</p> <p>① 改訂版「放射線等に関する副読本」（小学校児童用）の印刷【一般競争入札（最低価格落札方式）】（大臣官房会計課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 競争参加者が初版の印刷の時よりも少なかった理由は何か。 ・ 落札率が高くなっているが、何か原因があるのか。 <p>② 全面改訂版「心のノート（小学校3・4年用）」の印刷【一般競争入札（最低価格落札方式）】（初等中等教育局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参考見積書は提出したが、入札に参加しなかった二社は何か特別な理由があったのか。 ・ 前回の「心のノート」の印刷時に比べて、落札率が高くなったという感触はあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大型印刷案件が続いたことと、再生紙が品薄になっていたという状況が重なり、競争参加者が初版の印刷のときよりも少なくなったと考える。 ・ 大型印刷案件が時期的に集中したことや、市場で再生紙が品薄になったことなどにより、応札者が減り、結果として落札率が高くなったと考える。 ・ 入札までに用紙調達の調整をしていたが、期日までに、古紙配合率70%の用紙の必要数調達ができなかったため辞退するという説明を受けた。 ・ 前回のものとページ数が異なるため一概にはいえないが、他案件も同時期に集中していたことや、用紙の調達が困難になったことなどから、落札率が上がる結果になったということはあると考える。

③ 世界大学ランキング上位校の施設等に関する
実態把握調査【一般競争入札（総合評価落札
方式）】（文教施設部）

・一者応札になった理由をどう考えるか。

・総合評価落札方式における予定価格の端数処理
については、慎重に対応願いたい。

④ DecNef を応用した精神疾患の診断・治療シス
テムの開発と臨床応用拠点の構築【随意契約
（企画競争方式）】（研究振興局）

・研究内容が同様の提案について統合し、金額の
効率化を図ることを条件に採択しているが、金
額を含めた最終的な計画について、課題選考委
員会で承認をとっているのか。

・企画競争方式において、審査委員会の採択条件
で別々の案を統合して研究計画を練り直しさせ
るということはよくあるのか。

⑤ トルコにおける宇宙人材育成等の協力手法に
係る調査研究【一般競争（総合評価落札方式）】
（研究開発局）

・一者応札になっているがその理由について、ど
う考えるか。

・調査対象100校の内訳が、アメリカやイギリ
ス、アジアなど様々な地域にまたがっており、
その国々の特性を押さえて調査するノウハウが
あるかどうかということと調達規模が影響した
と考える。

・御指摘を踏まえ対応したい。

・企画の統合は課題選考委員会の審査の結果行っ
たことから、稟議の委員会を開き、委員の先生
方に了承を得ている。

・代表機関の下に分担機関がある事業において、
分担機関の必要性が薄いことを理由に分担機関
が削られた例はあるが、こういう例は初めてで
ある。

・説明会には二者来ていただいたが、調査対象を
トルコに絞ってしまっているという部分が、応
募に至らなかった主な原因だと考えている。

- ・複数年を予定している調査研究事業で、毎年入札するのは、委託する側からすると、業者が変わることによるリスクがあると思うが、同じような視点で長期間調査するよりも、違った視点から調査研究してもらった方が良いと考えているのか。

⑥ 武道等指導推進事業【随意契約（企画競争方式）】（スポーツ・青少年局）

- ・審査している方々は、どういう方々なのか。
- ・各教育委員会の要望があれば、それに応じて講師を派遣するとなっているが、経費は積算できるのか。

⑦ 学校における体育活動中の事故防止のための映像資料作成【随意契約（企画競争方式）】（スポーツ・青少年局）

- ・審査結果のうち、A社とG社というのはほとんど差がないが、どのようにしてA社に決めたのか。
- ・委員はどのように選定しているのか。

- ・新たな業者が参入してくれることにより、別の視点を持ち込んでくれるという効果はあると考えている。

- ・基本的に大学の教員であり、学校体育振興事業技術審査委員会という形で、審査をしていただいている。

- ・本事業は、地域の指導者として派遣できるだけのスキルを各県に置いていただきたいというもの。実際の派遣に係る費用は、地方自治体、教育委員会の予算の範囲で行うことになっている。

- ・審査基準に基づいて外部有識者の方に審査をお願いした。その結果、A社が最も高い点数をとったため、A社に決定した。

- ・学校体育の授業や学校現場の部活動などで活用できるよう、学校現場に適したものが御判断いただく必要があるため、学校体育振興事業の関係者を中心に選定している。

⑧ 論文を生み出す研究活動に用いた資金と人的体制に関する実態調査（論文実態調査 2013）
【一般競争入札（最低価格落札方式）】（科学技術・学術政策研究所）

・最初に応札がなかった理由はどう考えているか。

・要件緩和後の応札が一者しかなかったが、その理由はどう考えるか。

⑨ 考古資料 重文 大和額安寺五輪塔納置品
【随意契約（競争性のない随意契約）】（文化庁）

・価格の決定は、売り主が売りたいという価格が適当であるという評価なのか。それとも、このぐらゐの価格が適当であるという評価なのか。

⑩ 平成25年度「国語に関する世論調査」【一般競争入札（総合評価落札方式）】（文化庁）

・一者応札になった理由はどう考えているか。

・調査に当たり、落札者のパソコンではなく、当研究所のパソコンを用いて行う仕様であったため、作業が大変非効率になる点から応札がなかったと考える。

また、調査件数が、当初5万件であり、納期も短かったためこのような結果になったと考える。

・調査の履行期間が短くなったため、一者しか入札がなかったと考える。

・買取評価会には売り主の希望額は連絡せず、委員に文化財を見ていただいて、その適切な評価価格を提示してもらっている。その価格を売り主に提案し、合意が得られれば国と契約することになっている。

・結果として、提示している調達規模では対応できる業者が、一者しかいなかったと考える。

- ・毎年調査をやるのが前提となっているにも関わらず、入札公告が、11月になるのはなぜか。もっと早くするよう努力していただきたい。

【総括】

- ・個別に検討等を要するものはあるが、全体としては問題なく処理されている。

- ・審議会での議論の状況を見ながら問いを作成する必要があるため、早くても秋ぐらいになってしまっている。